

経営比較分析表（令和2年度決算）

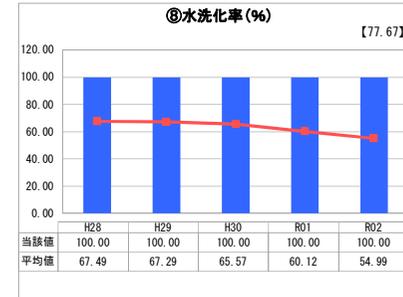
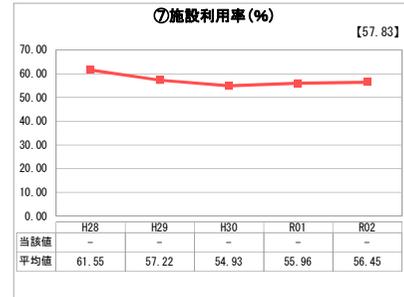
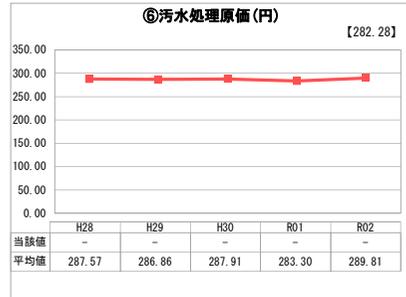
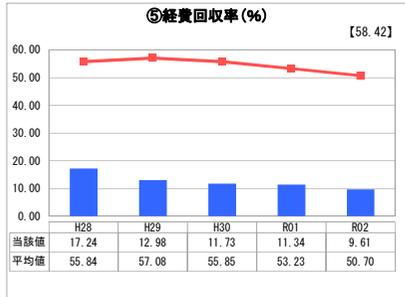
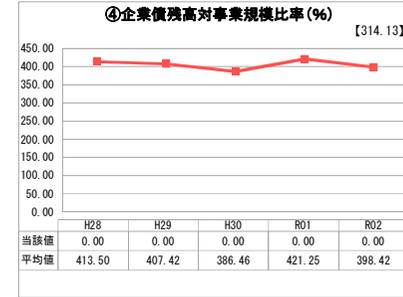
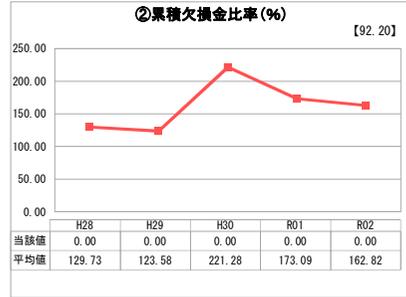
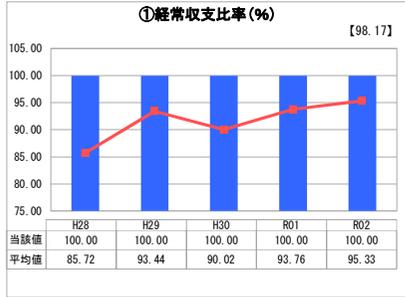
大阪府 枚方市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	100.00	0.01	-	3,190

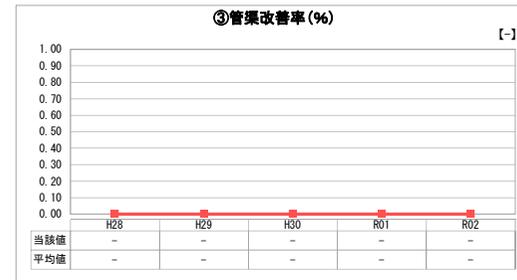
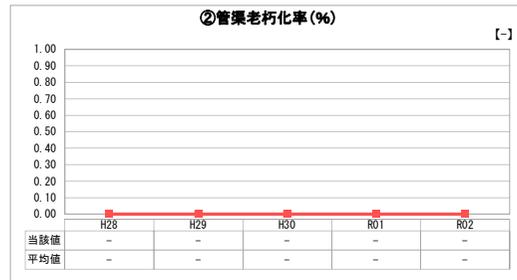
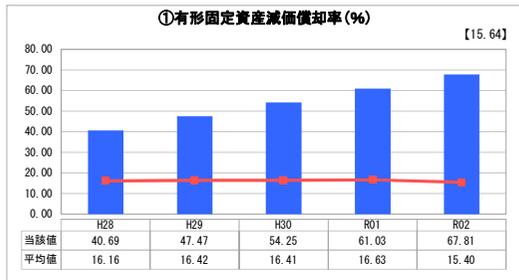
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
399,690	65.12	6,137.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24	12.84	1.87

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」は、一般会計からの補助金などの収入で収支の均衡を保っているため、100%で推移しています。
 「流動比率」については、未払金（流動負債）が発生していないため、グラフには表れていません。
 「企業債残高対事業規模比率」についても、整備時に企業債を発行していないため、グラフには表れていません。
 一方、「汚水処理原価」は、使用料金を有収水量に応じた料金算定ではなく、定額制としているため、年間有収水量が計測できないため計上しておりません。
 「施設利用率」については、浄化槽という観点から、グラフには表れていません。

2. 老朽化の状況について

本市の浄化槽は、平成18年度～平成19年度に設置したため、現状で老朽化に対する対応が必要な施設はありません。

全体総括

本市の浄化槽事業は、平成16年9月に「枚方市生活排水処理基本計画」が策定され、公共下水道区域と合併浄化槽区域の分け分けにより、市域の生活排水を適切に処理することを目的として開始しています。
 平成18年度～平成19年度に計10基を設置しましたが、現在は9基のみ設置されており、経営の健全性・効率性については、公共下水道と合わせて考えられています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。